

★第一次・第二次評価
(指定管理者・施設主管課による評価)

指定管理者評価シート(1/4)

令和7年度前期
施設名:平塚市余熱利用施設

評価項目	チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】)
			指定 管理者	市	
1 基本的な考 え方・姿勢	○指定管理業務に係る基本的な考え方や 職員の姿勢が、当該施設の設置目的、施 設の特性及び市の求める指定管理者像に 合致しているか。	○当該施設の設置目的、施設の特性及び市の求める指定 管理者像が配置職員に共有されている。 ○現場責任者及び配置職員の考え方や姿勢が、本市の意 図するものとなっている。	A	A	
	○団体等の持つノウハウ等の強みを活か した意欲的な創意工夫等を行う姿勢が見ら れるか。	○利用者等のニーズの把握、利用拡大に向けた取り組み、 効率化の推進などに係る創意工夫への積極的な姿勢が見 られる。 ○当初の提案やその他具体的な目標等があり、そのための 取組を行っていく姿勢が見られる。			
2 サービス向上 及び利用促進の 取組	○サービス向上及び利用促進、地域の活 性化等、発展性のある独創的で魅力的な 取組が行われているか。	○指定管理者の独創的で魅力的な取り組みが、利用者 サービスの向上や利用者増、地域活性化などにつながって いる。 ○自主事業の開催に当たっては、利用者ニーズを反映さ せ、事業目的や効果を明確にし、より多くの利用者に参加 してもらえるよう、各種工夫を行っており、また、対象別に多様 な事業を実施している。	S	S	【指S】魅力ある教室運営を実現いたしました。 ①子供向け教室1クラス、カルチャー系教室2クラス、健康教室9クラスの計12クラスを 新設しました。 ②文化教室としては煎茶を楽しむ会、健康ウクレレ教室を新たに開講しました。 これらの取り組みにより既存の利用者以外の新しい利用者を受け入れる事が増えま した。 【市S】参加対象者や分野の異なる新規の教室を積極的に開設しており、利用者の増 加につながっている。また、事業によっては「体験会」を開催し、新規の参加者を受け 入れやすくするなどの工夫を行っている。既存の利用者の継続的な来館を促しつつ、 LINE等による事業の周知も幅広く行い、新規来館者の増加につながるよう取り組んで いる。
	○適切な利用者への接客・応対、社会的弱 者への配慮や、利用者の公平、公正な利 用が確保されているか。	○施設のサービス水準を確保するため、受付・電話対応・そ の他接客マナーなど、標準的な業務実施手順や注意点等を マニュアル化している。 ○利用者、特に社会的弱者にとって公平・公正に利用できる マニュアル及びシステムを構築・運用している。 ○職員の意見を取り入れながら、標準的な業務実施手順等 をスタッフミーティング等において定期的に見直している。 ○わかりやすい言葉づかいや図、イラスト、写真等を活用 し、誰にでもわかる工夫をして情報提供している。			
	○利用者のニーズ等を収集し、それを反映 する仕組みや、トラブル、苦情処理の適切 な対応と未然防止・再発防止に向けた具体 的な方策がとられているか。	○利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、課 題への対応策を講じて改善するなどの工夫が見られる。 ○苦情処理の適切な対応が可能なマニュアルや体制が整 備されている。 ○利用者が苦情や意見を述べやすいよう、窓口(苦情係、ご 意見箱の設置、HPでの受付等)を設置している。 ○利用者からの苦情や意見等が寄せられた際には、内容を 記録し、対応策を実施している。 ○日々の利用実績を記録し、定期的(週単位、月単位等)に 集計している。 ○利用実績、稼働率の推移を分析し、これを踏まえた改善 に取り組んでいる。			
	○ホームページや広報紙等を活用し、積極 的な情報提供による利便性の向上や利用 者増に向けた取組を行っているか。	○誰にでもわかりやすいホームページや広報紙等となっ ている。 ○潜在的な利用者の掘り起こしや利用拡大に向けたアピ ールができるホームページや広報紙等となっている。 ○施設内の掲示板等を有効に活用して、利用者にわかりや すく情報提供をしている。			
					【指S】多くのご利用者様に当施設の情報を提供するためHPお知らせ欄を増やすシス テム改善を図りました。 ご利用者が興味を持って頂くような館内ポスターを積極的に作成し掲示しました。 【市S】ホームページのシステム改善を行い、閲覧者にとって、見たい情報へのアクセ スし易さが向上した。また、各情報の詳細なページについても、字体や色彩を工夫し、イ ラストも多用しながら、見やすく分かりやすい情報提供を行っている。

★第一次・第二次評価
(指定管理者・施設主管課による評価)

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】)
				指定 管理者	市	
I 市民サービスの向上（共通項目）	3 施設の維持管理等	○施設及び設備の保守点検、備品等の管理、施設清掃・植栽等の維持管理、計画的な修繕等、法令等に基づいた適正な業務計画となっており、実行をしているか。	○事業計画書等に沿って、建物・設備・備品・樹木等が適切に管理されている。 ○利用者が安全に利用できる状態が保たれている。 ○施設内及び敷地内の美観が保たれている。 ○市所有の備品と指定管理者所有の備品が区別されており、備品台帳に記された備品がすべて揃っている。 ○トイレ等の衛生状態が保たれている。 ○日常的、定期的に施設内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するように努めている。 ○鍵の管理方法が明確になっており、適切に管理している。	A	A	
		○廃棄物の処理方法と合わせて、省エネルギー対策やごみ減量への取組等、環境法令を踏まえた環境負荷低減への取組が行われているか。	○廃棄物の処理について、適正な考え方や取り扱いとなっている。 ○環境法令を踏まえ、省エネルギー対策やごみ減量に向けた実効性のある取り組みが行われている。			
		○業務の一部を外部委託する場合、業務の実施や履行確認等、管理指導の体制が整っているか。	○外部への委託について、契約書等の書類があり、契約内容が確認できる。 ○外部委託先からの業務報告が書面にて定期的に行われており、履行確認ができる。 ○委託先の現場代理人等に対し、必要に応じて指導ができる体制にある。			
	4 緊急時の対応等	○緊急時・災害時の連絡体制、役割分担等が明確となっており、事態を想定した研修・訓練等の取組が行われているか。	○事故発生時及び災害時の連絡体制や対応体制がマニュアル等で明確になっている。 ○事故発生時及び災害時のマニュアル等に基づき、防災訓練等を実施している。また、事故対応及び災害対応に係る研修や事例研究等を実施している。 ○発生した事故又は災害等の内容及び対応等について記録を作成している。	A	A	
		○安全管理、衛生管理、危機管理等の徹底に向けたマニュアルの整備、全職員の対応力の平準化や意識啓発に向けた取組が行われているか。	○事故防止のチェックリストや事故対応マニュアル等を整備し、職員に周知徹底がされている。また、事故防止策の研修や事例研究等を実施している。 ○当該施設の管理に係る法令・基準等を職員が把握している。 ○管理瑕疵・過失に起因する事故は発生していない。 ○金銭取り扱いのマニュアル等を作成し、職員間で情報の共有化を図り、事故防止に努めている。			
	5 職員配置等	○実施業務に即した職員配置等(人数、専門職、勤務体制、責任体制)であり、法令等に基づく雇用・労働条件等を管理監督する体制を有しているか。	○事業計画書・水準に沿った職員体制であり、管理職は、他の職員の業務状況を適切に把握している。 ○報告書等で職員配置等を確認することができる。	A	A	
		○従事職員の資質向上や人材育成に係る取組は、効果的かつ適正なものであるか。	○常勤・非常勤職員に関わらず、職員の研修計画を作成し、内部研修を実施しており、外部研修や勉強会に参加できる環境を整えている。また、必要に応じて、職員の専門技術を高めるため、事例検討会、勉強会や意見交換会等を開催している。			

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】)
				指定 管理者	市	
	6 その他	○市、関係機関、地域団体等との有効な連携・協力体制を確保しているか。	○協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行なわれるなど、責任者間での十分な連絡が行われている。 ○地域住民、町内会、自治会等の地域の団体、関係機関などの関係団体との連携を図るため、情報交換を行っている。 ○地域住民の意見・要望を把握している。 ○人的資源や場所の提供を通し、各種地域活動へ参加している。 【共同事業体が対象】 ○共同事業体団体間の連絡体制が確立され、連絡方法の手順及び頻度が具体的に示されている。	A	A	
		○管理運営にあたり、関係法令等の遵守、情報公開及び個人情報保護に対する適切な運用方針が示されており、実行されているか。	○各種規程及び体制が整備されている。 ○制度を理解し、法令を遵守している。また、法令遵守に対する職員の意識啓発に向けた取り組みを行っている。 ○個人情報の取扱いに関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。 ○個人情報を収集する際は必要な範囲内で適切な手段で収集し、目的以外に使用していない。 ○情報公開に関するルールやマニュアル等が整備され、責任者が特定されている。			
Ⅱ 経費の節減等 (共通項目)	1 適正な経理事務等	○当該年度の経費の積算や執行に係る考え方が具体的に示され、適正な経理処理が見込めるか。	○収支計画の積算根拠が明確である。 ○当該施設の指定管理料に係る会計処理と他の事業(自主事業等)の会計処理が分けられている。 ○経理を担当する職員を配置している。	A	A	
		○当該期間の収支は、事業計画等に基づく積算の根拠が明確に示され、無理や漏れ等のない確実なものであるか。	○事業計画と収支計画の関係が明確である。 ○指定管理業務用の通帳や印鑑などが適切に管理されている。 ○収支決算書に記載されている費目に関し、伝票等が存在する。 ○適切な経理書類が作成されている。 ○内部もしくは外部による監査体制がとられている。 ○決算の収支が極端な赤字でない。			
	2 コスト縮減等	○民間のノウハウが発揮され、創意工夫による効率的な管理運営の取組や、コスト縮減に向けた取り組みが行われ、高い実効性が認められるか。	○民間ノウハウを活かした経費節減及び効率化への取り組みを実施しており、成果をあげている。 ○利用者の増加に向けた創意工夫等の取り組みが見られる。 【利用料金制の場合】 ○利用料金収入の目標値を明確にし、目標に向けた取り組みを実施している。	A	A	

★第一次・第二次評価
(指定管理者・施設主管課による評価)

指定管理者評価シート(4/4)

令和7年度前期
施設名:平塚市余熱利用施設

評価項目		チェック項目	判断の目安	評価		評価理由 (今回の評価がSである特筆すべき点【指S】【市S】) (今回の評価がCである理由【指C】【市C】) (対前回比でランクアップ又はランクダウンした理由【指○→○】【市○→○】)
				指定 管理者	市	
個別項目	1 サービスの向上及び利用促進の取り組み	○老人福祉センターの目的を理解し、高齢者等に配慮した具体的な事業が実施されているか。	○健康や生活に関する相談、助言、市の関係窓口との連携を見込める事業を実施している。 ○高齢者等が健康づくりや介護予防に取り組むきっかけ作りから継続的な参加までを計画的に実施している。 ○教養や健康に関する講座や教室、イベント等を開催している。	S	S	【指S】令和6年度より継続して高齢者向け「無料サービス」を実施しています。①油圧式筋力運動マシンの無料開放、②明治安田生命様と連携をした「健康測定会」を毎月1回無料開催、③薬剤師によるお薬相談や看護師による各種健康相談、④平塚市地域包括センター「平塚市高齢者よろず相談センター、サンレジデンス湘南」と連携して毎月1回無料開催の認知症カフェ、⑤毎年9月15日の敬老日には60歳以上の方は施設利用の無料提供、⑥高齢者向けスマホ教室、⑦e-SPORTSに紐づく最新TVゲーム体験等 これらの無料サービスを定期的に実施いたしました。又有料であります但カルチャー系、文化系の教室（ハワイアンフラ・太極拳・煎茶を楽しむ会・健康ウクレレ教室）等の趣味や習い事、楽しみを感じて頂ける企画も新たに開校し、ご高齢者の方への健康意識の向上や日常生活の活力の維持・向上に指定管理者としてしっかり関わっていく事が出来たと判断しております。 【市S】高齢者にとって馴染みが薄い運動マシンやe-SPORTSのゲーム体験をはじめとして、無料サービスを複数提供することによって、利用者にとって事業参加のハードルを下げながら、興味・関心を持つきっかけづくりを助け、継続的な来館を促すことにつなげている。
	コメント	今上半期におきましては、前年から継続している「健康増進事業」「老人福祉事業」「地域福祉事業」をベースとして新たな新規事業(企画)を立上げより魅力的で充実した施設運営に取り組んでまいりました。さらには施設の新たな役割である「世代間交流の場」としても様々な企画・事業を積極的に行う事で「福祉施設」でありながら幅広い年齢層の方に足を運んで頂く事が出来た福祉施設の新たなモデルを指し示す事が出来たと考えます。これらの結果は利用人数の増加として前年上期と比較しても前年比115% 前年差＋8,080人増加という結果に繋がっていると考えられます。引継ぎ福祉施設の新たなモデルとして様々な事業・企画に取り組み魅力ある施設運営を継続してまいります。				
	・総括 (※市が記入)	・前年度と比較して、利用者が大幅に増加しており、積極的に情報発信を行いながら、様々な新規の事業に取り組んだ結果といえる。 ・「世代間交流の場」という施設の役割について十分に認識しながら、単なる福祉施設にとどまらない運営を行った。 ・施設の管理面については、点検業者等と密接に連絡調整を行い、利用者の安全や利便性に配慮しながら、適切に対応した。				

評価について	あった点
S	継続的に適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
A	継続的に適切・良好である。
B	一部に適切・良好でない部分があったが、改善済み又は見込みである。
C	水準に未達の場合